

5区分	災害防止	25の施策分野	荒廃山地の復旧等の治山	事業名	山地治山(復旧治山)			
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	ろくろさわ 六郎沢		工期 (年度)	当初 実績	H9 ~ H13 H9 ~ H16	
当回事業費	201,800千円		費用対効果	当初	完了後経過年数	5年		
最終事業費	235,851千円			評価時		3.9		
事業目的	台風により山腹が崩壊したため、下流地域の保全と山腹の復旧を図るため事業を実施した。							
事業等経過	当初計画内容	谷止工1個、山腹工1.20ha 土留工8個、水路工100m 筋工370m 伏工2200㎡ 吹付工1677㎡他、森林整備15ha						
	最終事業内容	谷止工1個、山腹工1.20ha 土留工8個、水路工100m 筋工437㎡ 伏工3456㎡ 吹付工2567㎡他、森林整備23.4ha						
	変更理由	拡大崩壊により伏工、吹付工の施工区域が増加した。						
費用対効果の算定の基礎となった要因の変化								
当初時は費用対効果を算定していない。								
社会経済情勢の変化								
特になし。								
評価内容							ランク	
事業効果の発現状況(S:目的を超えた達成 A:達成した B:概ね達成 C:達成したとはいえない)							部	政策評価課
平成18年、19年と台風による豪雨が頻発したが、事業実施箇所については影響は見られず、山腹の復旧が進んでおり、事業の目的を達成している。							A	A
事業実施に伴う自然環境の変化(S:環境がよくなった A:影響なし B:影響あり C:影響が大きい)							A	A
山腹崩壊地の復旧に伴い、裸地化した部分がなくなり、緑化工施工区域は植生が回復しつつある。							A	A
施設の維持管理状況(S:地域の人たちの参加あり A:適切にされている B:やや不十分 C:適切にされていない)							A	A
長野県が点検・管理を行っている。							A	A
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)							A	A
工事の必要性については約8割、納得度については約9割の方から評価されている。							A	A
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要)							A	A
当事業として改善措置の必要性はない。							A	A
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している -:特になし)							-	-
特になし。							-	-
部意見	崩壊地の復旧、森林整備等を実施したことにより、地域の安全・安心の確保ができた。			政策評価課 意見	山腹崩壊地が安定し、一定の効果が認められる。			
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等								
今後、計画にあたっては、より一層防災機能の向上を図られるよう、施設整備と森林整備の一体的な実施計画に留意し、地域ぐるみで森林整備が進められるよう、計画の進め方、説明方法について工夫する必要がある。								

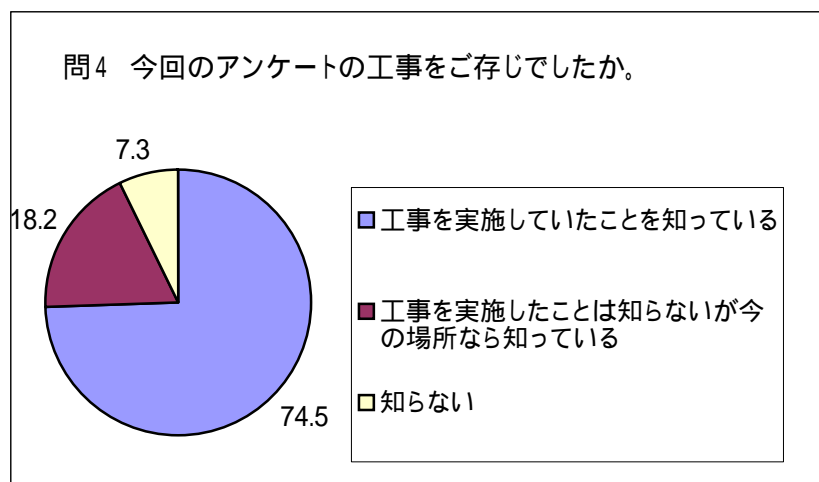
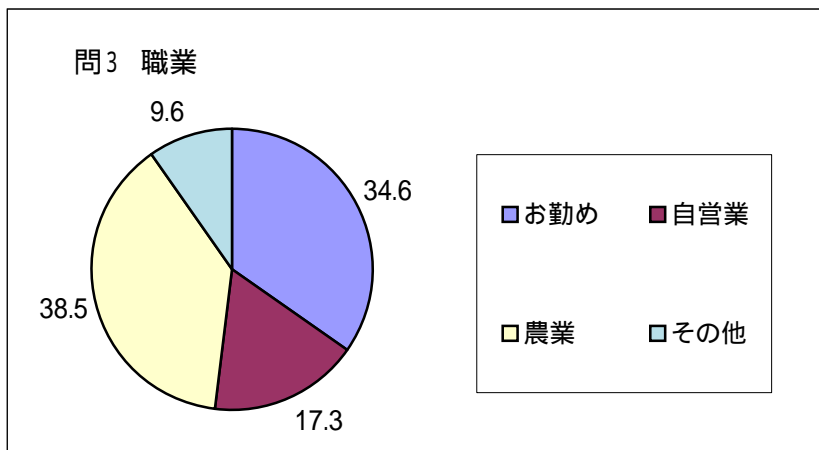
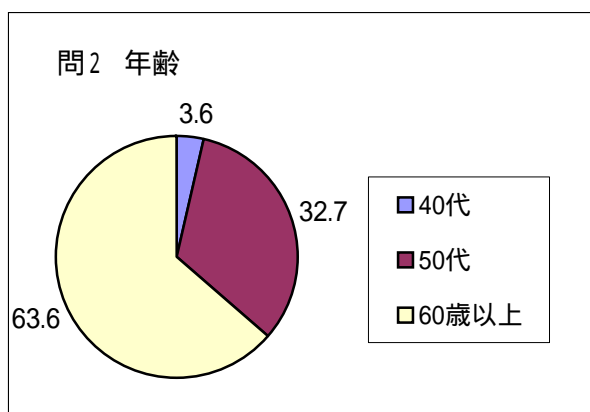
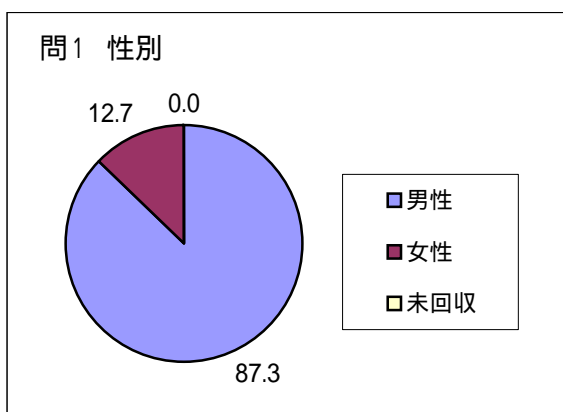
5区分	災害防止	25の施策分野	荒廃山地の復旧等の 治山	事業名	山地治山(復旧治山)
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	ろくろさわ 六郎沢		

アンケートの方法及び対象

施工地周辺の大和合牛立町会及び原厩所町住民を対象として実施した。

配布数:55 回収数:55 回収率:100%

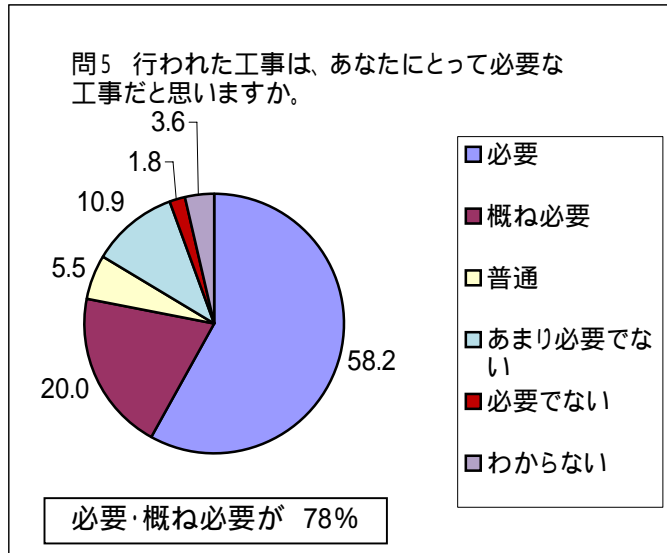
アンケート結果



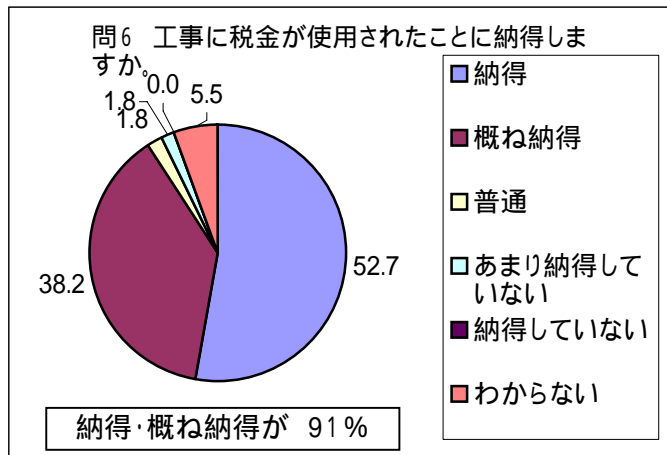
5区分	災害防止	25の施策分野	荒廃山地の復旧等の 治山	事業名	山地治山(復旧治山)
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	るくろさわ 六郎沢		

アンケート結果

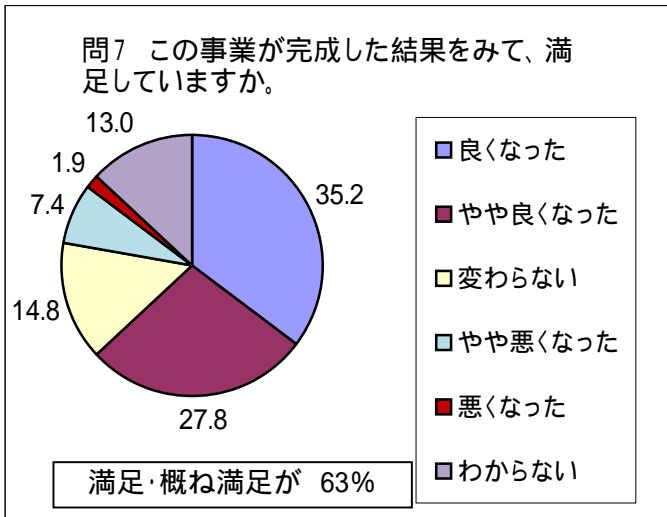
その理由



- ・自宅から見える所にあり工事前大雨の時はガラガラと石が音を立てて崩れともこわかった。
- ・石がゴロゴロと落ちる音がたまにしていた。崩れて川をせき止めたらすごい被害が起きる。
- ・大きな災害防止には必要な工事だと思います。
- ・災害防止に必要
- ・土砂災害等防止のため
- ・崩落が更に進行することにより土砂の流出が起こる
- ・崩壊箇所は時間が経つにつれ拡大し工事も困難になり河川への影響も大きいと思われるから
- ・災害時に薄川をせき止めダムにするかもしれない
- ・下流河川の危険(この地帯は保安林とされている)おそれがないよう未然に防止する策として大切だと思う
- ・被害が拡大しないように
- ・自然を守るため
- ・大雨のために崩壊箇所が広がり落石があり危険だった
- ・山の崩落を留めたり森林の荒廃を抑制する



- ・費用の詳細が不明であるが必要であったと思われる
- ・工事をするにはお金がかかる。やむをえない
- ・税金以外の捻出は困難と思う
- ・税金の投入が無ければ急峻な斜面は自然崩壊のままになってしまう
- ・災害保全であるから
- ・行政の立場の方々が必要であるとして工事をしたのだと思います
- ・工事をやらなければ下流が危険になると思う
- ・個人負担では無理であり工事を行う事は不可能だと思う
- ・住民の安全を守るために必要だった
- ・税金でなければ工事はできない
- ・災害を未然に防止するために必要と考える
- ・公共のものだから



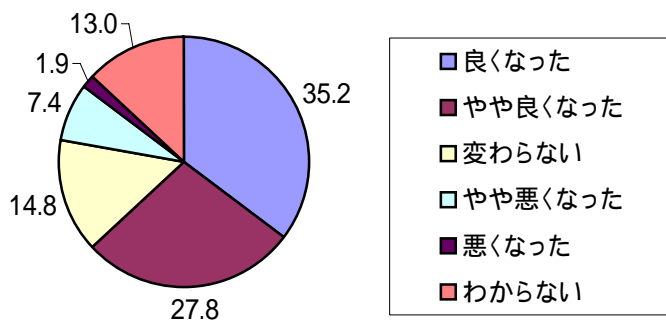
- ・自然が守れた
- ・緑が多くなり安心
- ・その後おさまっているので
- ・新たな崩壊も今のところ無く植生も見られる
- ・崩落防止と緑の回復が見られる
- ・災害の拡大防止する必要上よい事業だが予算が大きいので大変だ
- ・草木が生える方法で工事を行ってほしかった
- ・その後大事故がありませんので良かったのではないかと考えております
- ・場所をみていないから。でも緑が多くなってきた
- ・行政を感じる
- ・他と比較して仕上げが良くない

5区分	災害防止	25の施策分野	荒廃山地の復旧等の 治山	事業名	山地治山(復旧治山)
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	ろくろざわ 六郎沢		

アンケート結果

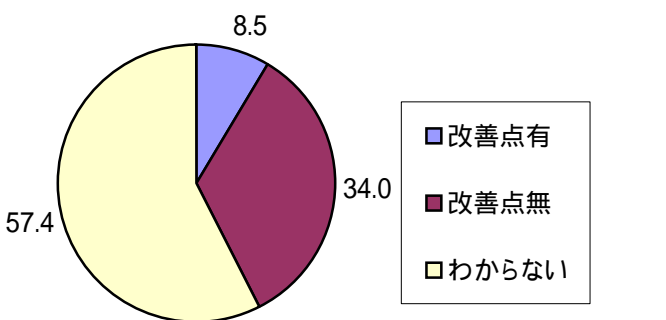
その理由

問8 事業の実施により大気環境や水環境、植物や動物、景観などの自然環境の状況は、施工前と比べてどう変化しましたか。



- ・緑が増えてきた
- ・見た目が良くなってきている
- ・がけ崩れが止まり草木が増えた
- ・崩落防止と緑の回復が見られる
- ・土砂の川への流出は少なくなった
- ・崩落が止まった景観上緑の復原が最良であるが以前より良い状況
- ・崩壊箇所の縮小
- ・素人にはわかりませんが今のところ工事箇所の損壊も無く工事の成果だと思う
- ・足が悪く現地へ行けないので何とも云えない
- ・完成したところを見ていないので何とも言えない
- ・動物については歩行が困難そうであるが水に関しては泥水になる状態は減ったと思う

問9 行われた工事について改善した方がよいと思う点がありますか。



- ・林道崩壊有りなおしてほしい
- ・仮設の片付け等の後始末の徹底

いただいた御意見(問10、11)

- ・搬入路に少し配慮するべき
 - ・工事結果その後の確認、新たな対策等続けてほしい
 - ・六郎沢の道の石積みをお願いします
 - ・林道の一部崩れた所を石積みをお願いしたい
 - ・公共事業(国土保全)をムダという人がいるが論外。山地の保全は大切
 - ・この外にも同様の崩壊箇所がいくつもありますが薄川右岸(厩所橋上流500m位の砂防堰堤下)に新たな崩壊が起きています。林道、元郎沢線？一部損壊しているところ有り
 - ・ダム等大きな工事でもないしシカ等に人間の生活空間を脅かされる事になりかねない。もうそうなってきた。
 - ・河川の整備をもっとやった方がいいと思う。(ニセアカシヤの林になって視界の悪くなっているところが多くある)
 - ・六郎沢西側大くずれの治山工事のときに作ったワイヤー等が山の中に多数残っている
 - ・住民からの要望がありそれから実施に移されるまでの期間が長すぎて完成したときには必要の無いものになってしまうものもある
 - ・予算を有効に使用してほしい
 - ・山辺の谷は山が深いので改善できる所はなるべく早く実施してほしい
 - ・林道六郎線の道の改善工事を個人共有林・県有林へ行くことができない
 - ・河川内のアカシア、かや等の処分、川の流れをスムーズに、ダムの堆積土砂の改善等を。
 - ・六郎沢林道修理をたのむ
- それでは田舎はすたれるばかりだ。不必要な公共事業は1つも無い。住民の要望がどれだけ強いかがバロメーターだ。

5区分	災害防止	25の施策分野	荒廃山地の復旧等の治山	事業名	山地治山(復旧治山)
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	ろくろさわ 六郎沢		

施工前写真



施工後(現況)写真

